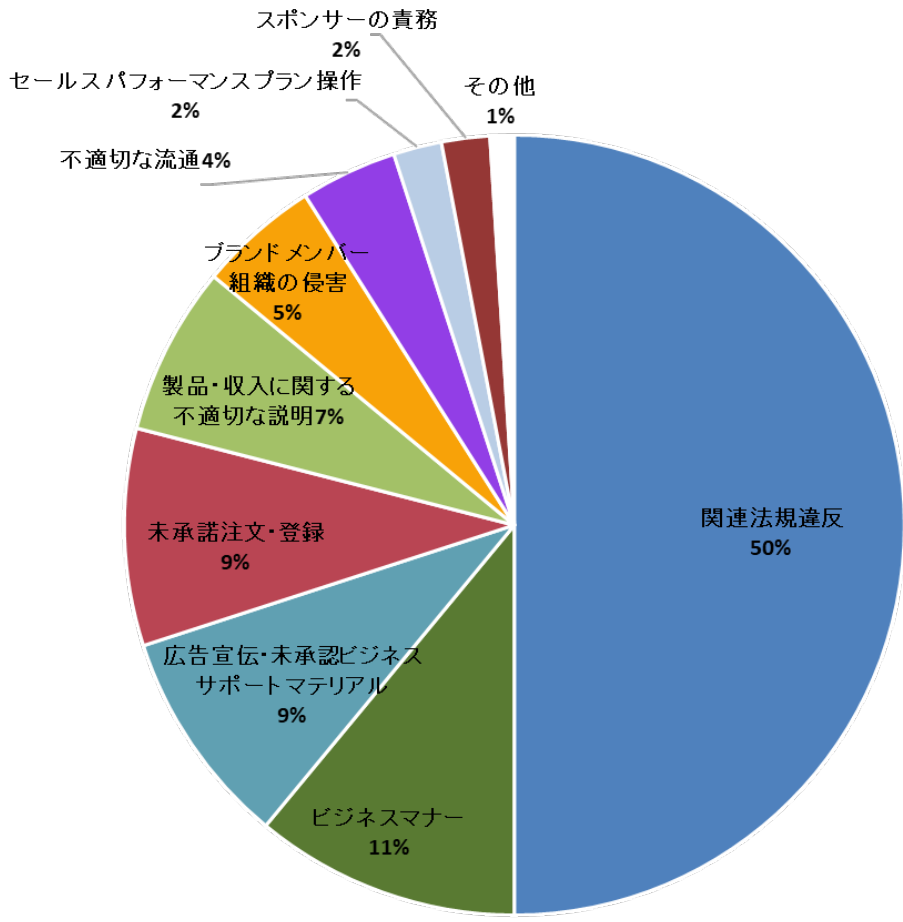


2020年度 コンプライアンスに関する報告

ニュースキンジャパン株式会社



2020年度 コンプライアンスに関する報告



違反行為	%
関連法規違反	50
ビジネスマナー	11
広告宣伝 未承認ビジネス サポート マテリアル	9
未承諾注文・登録	9
製品・収入に関する不適切な説明	7
ブランド メンバー組織の侵害	5
不適切な流通	4
セールス パフォーマンス プラン操作	2
スポンサーの責務	2
その他	1
	100

* 上記は、複数の違反内容を項目別に分けたものであり、すべての違反内容を表したものではありません。



2020年度 コンプライアンスに関する報告

本情報は、ニュースキンジャパンがニュースキン インターナショナル社（以下ニュースキン）に代わって報告するものです。以下は、2020年1月～12月の間に、コンプライアンス委員会（以下CRC）によってとられた措置についてです。

契約違反のあったブランド メンバー数：210人

タイトル別	
ブランド メンバー	84
ブランド レプリゼンタティブ	51
ブランド パートナー	27
シニア ブランド パートナー	21
エグゼクティブ ブランド パートナー	5
ブランド ディレクター	7
シニア ブランド ディレクター	8
エグゼクティブ ブランド ディレクター	2
チームエリート	5

契約違反に対する措置 *	
口頭／書面による教育指導	115
トレーニングへの強制参加	72
ビジネス活動の保留	13
活動の監視	16
コミッション減額（10%～100%）	11
ライン移行	5
解約	17
その他	1

* 1人のブランド メンバーが複数の措置を受けることがあります。



効果的なコンプライアンス活動を行うために

ニュースキンでは、事業運営における法令遵守（コンプライアンス）や、一般消費者および顧客の保護に積極的に取り組んでいます。

ブランドメンバーに対しても、ビジネス活動においてコンプライアンスや消費者保護を徹底するよう指導しています。

ニュースキンは、効果的なコンプライアンス活動を行うためには、以下の5つの分野に力を入れることが重要だと考えます。

- ・ **ブランドメンバー規約**
- ・ **教育とトレーニング**
- ・ **法令遵守**
- ・ **改善策**
- ・ **評価と監督**



コンプライアンス委員会（CRC）について

ニュースキンは、CRCを設置し、ブランドメンバーの活動を検証し、監視しています。CRCは、代表取締役社長を最高責任者として、定期的に開催され、複数名の上級管理職が参加しています。目的は、以下のとおりです。

- **コンプライアンスおよびビジネス活動の監督に関わるブランドメンバー規約を策定し管理すること。ニュースキンジャパンは、特に製品・収入に関する適切な説明、製品の不適切な流通防止を含む適正なスポンサー活動の教育に注力すること。**
- **ブランドメンバーに対し、健全かつ長期的にビジネスを構築する方法を教育、指導すること。**
- **「特定商取引に関する法律（特定商取引法）」および「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）」に関するコンプライアンスを監視すること。ニュースキンジャパンおよびブランドメンバーが共に関連法規の遵守に真摯に取り組むことによって、ニュースキンの社会的評価を高めていくこと。**
- **ブランドメンバー規約および報酬制度を含む、ブランドメンバー申請書の各条項を履行すること。**



